

吉川構成員 資料

(3)の医学・栄養学との連携による日本食の評価の項目ですが、日本食の定義が定まっていない今日、その効果の試験などは解決すべき技術課題にもあげられていますように漠然としすぎており、困難が予想されます。日本食の特徴となっている食品に限っては実現可能かも知れません。それらの機能性の医学的な実証研究が急務と考えます。その中でも、疫学的な検証は必要と考えます。文科省の資料には時に意見はありません。よろしくお願いします。